

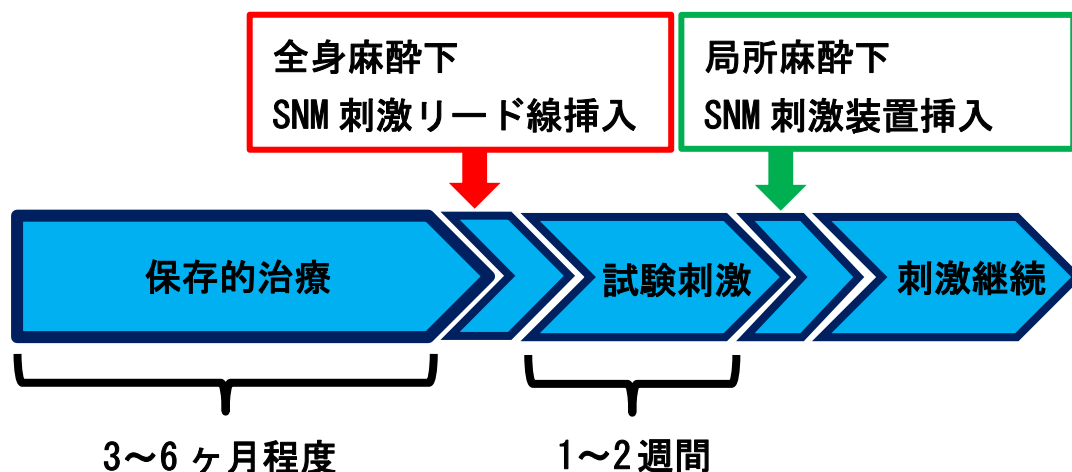
## 仙骨神経刺激療法 ～治療成績について～

### 【はじめに】

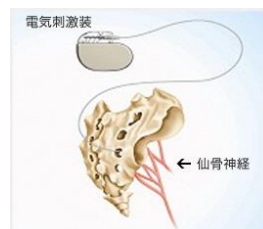
便失禁にて対して平成 26 年 4 月から公的医療保険の適応となった仙骨神経刺激療法ですが、平成 29 年 3 月 31 日までの 3 年間に日本で約 200 例の症例に導入されております。平成 29 年 9 月より過活動膀胱による頻尿に対しても、公的医療保険の適応ととなったことから、仙骨神経刺激療法は益々症例が増加することが予測されます。

香川県立白鳥病院では、13 症例仙骨神経刺激療法を導入・継続中です。

### 【仙骨刺激療法の実際】



便失禁にて対して過去に治療歴の無い患者様に対しては、3～6ヶ月程度内服並びに骨盤底筋訓練等にて保守的治療を行います。過去に治療歴があり改善が無い、もしくは保守的治療にて軽快しない場合は、仙骨神経刺激療法に同意をいただき、入院し全身麻酔にて刺激電極を仙骨神経近位に挿入します。体外式の刺激装置で1～2週間程度試験刺激を行い、便失禁が改善すれば局所麻酔下に刺激装置を挿入し刺激継続となります。



試験刺激で改善が無い場合は、局所麻酔下に刺激電極を抜去します。

刺激装置植え込み後は、頭部以外の MRI 検査並びに特殊な電気治療が禁忌となりますが、それ以外に関しては手術前と同様、日常生活に制限はあり

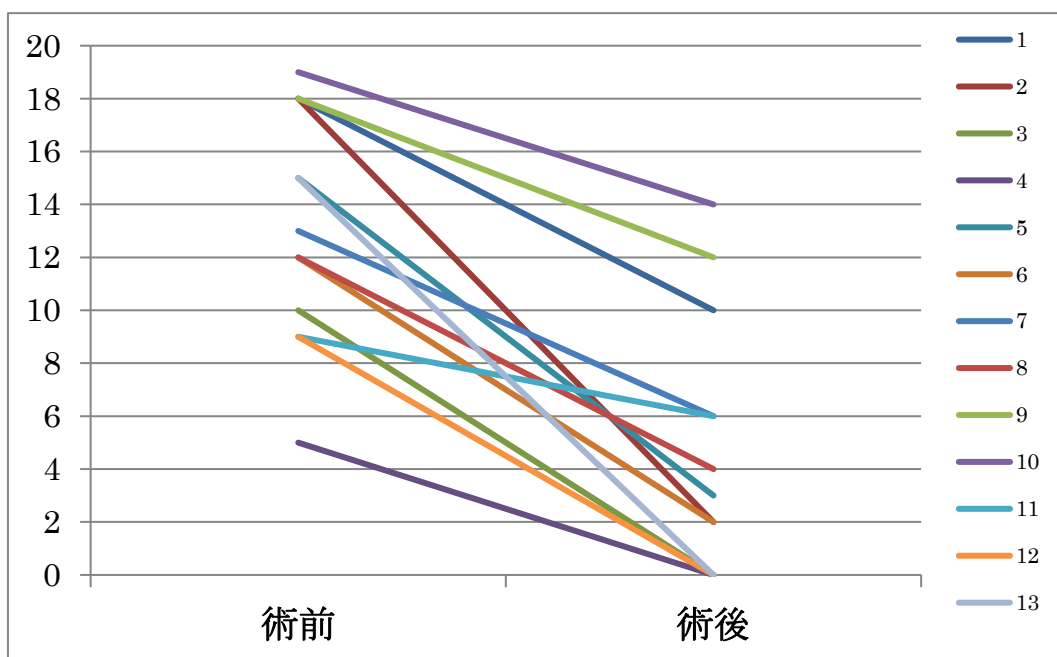
ません。

【仙骨刺激療法の成績】

当院では平成 29 年 8 月 31 日までに 25～80 歳の男性 5 名, 女性 8 名の計 13 人に対して仙骨神経刺激療法を継続しております。

No	性別	年齢	病名	便失禁
1	男	69	CRT/ISR術後	混合性
2	女	72	特発性	漏出性
3	女	63	特発性	漏出性
4	女	71	子宮頸癌RT後	混合性
5	女	37	多発性硬化症	切迫性
6	女	76	CREST症候群	切迫性
7	女	72	特発性	漏出性
8	女	49	特発性	切迫性
9	男	26	特発性	漏出性
10	男	73	ISR術後	混合性
11	男	51	潰瘍性大腸炎術後	切迫性
12	男	25	仙骨骨折後	切迫性
13	女	80	特発性	混合性

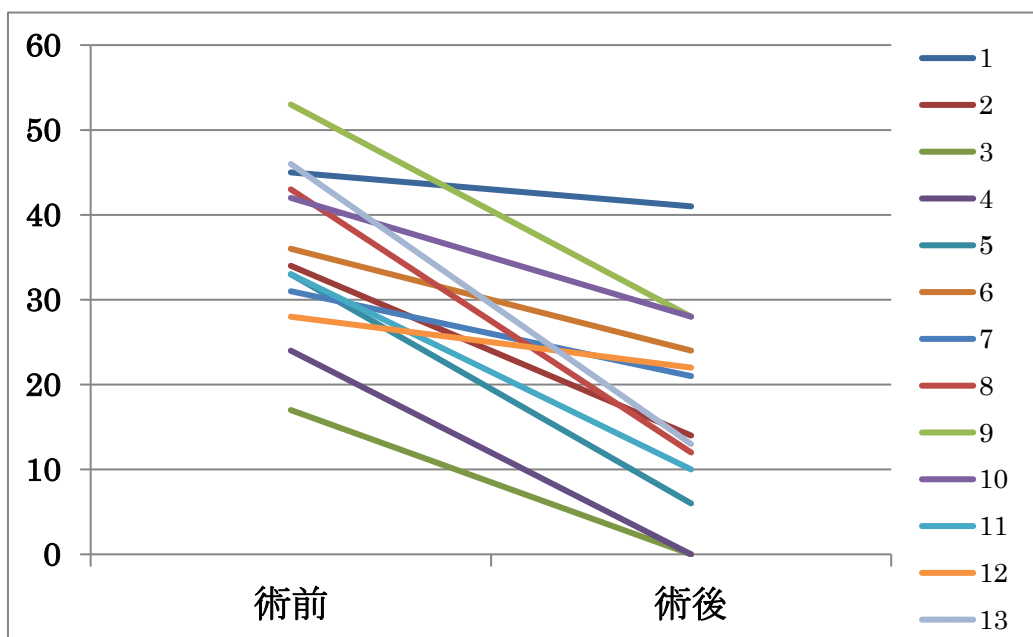
### <便失禁回数>



13例すべて週あたりの便失禁回数は減少しております。3例は完全に便失禁が消失しました。

### <便失禁スコア>

～FISI スコア～



固形便・液状便・粘液・ガス失禁・ナプキンなどの下着汚染予防策が必要・生活制限が必要, 等を点数化した **FISI** スコアもすべてにおいて減少しており, 仙骨神経刺激療法により便失禁が改善したことを示しています。

**【便失禁でお悩みの患者様に】**

便失禁の治療は仙骨神経刺激療法のみではなく, 検査により原因を明らかにして, 内服治療, バイオフィードバック療法(骨盤底筋訓練, 筋電図による肛門収縮訓練, 風船を使用した便意知覚訓練等), アナルプラグ療法, 手術治療(肛門括約筋修復術, 肛門管形成術, 仙骨神経刺激療法等)等により患者様にあった治療を選択します。おひとりで悩むだけでなく, 御相談いただければと思っております。